



### 佐藤龍一夢（コウライザー・プロジェクト）

代表者	佐藤龍一夢
設立	平成29年
構成数	1人（コウライザー・プロジェクト 5人）
地区	大館市白沢

#### 【活動の内容】

「大館に光りある未来を」というコンセプトから誕生したご当地ヒーローです。ヒーロー名はコンセプトの略称で「光来（こうらい）」から名付けられました。主に大館市内の伝統芸能や行事に、イベントに自らがヒーローのコスチュームを纏い、伝統芸能や行事を体験し、その様子をSNSで発信してPRしています。

#### 【主な活動】

大館市内の伝統芸能・行事に参加し、マスターしていく。

将来的には県北地域、全県にも活動を広げていく。

2月：大館アメッコ市

3月：若者フェスタ2018

6月：長木川フェスティバル

7月：矢立小学校講話

8月：大文字まつり

8月：白沢獅子踊り、山田獅子踊り

9月：大館神明社祭典

10月：本場大館きりたんぽまつり

など

#### 【始めたきっかけ】

少子高齢化が進む県内で、古くから伝わる伝統芸能や行事を未来へ受け継ぐことは非常に難しい状況にあります。現在住んでいる白沢地区の「獅子踊り」も担い手不足による存続の危機に立たされています。そこで、積極的なPRを行い、多くの人に興味をもってもらいたいと考えました。まずは、未来を担う子ども達に興味をもってもらいたいという思いから、子どもが関心を抱く方法として「ヒーロー」になれば、子ども達が集まり、大人も参加してくれるのではないかと……。地域全体を活気づけたいと決意し、「元気な地域」になってくれるようにと



願いながら、積極的に活動していきます。



## 子育てサポートマカロン



代表者	佐藤 真理子
設立	平成23年
構成数	15人
地区	大館市比内町扇田

### 【活動目的】

女性労働協会の保育サポーター養成講座を修了し、身に付けた技能を生かして地域貢献したいという志をもつ者同士（30代から60代）が集まり結成しました。子育てで忙しい親御さん達のために託児や保育を行い、さらには子ども達の子育てに携わるお母さん達の悩み事の相談を受けたり、おばあさん達にほっと一息就ける場を提供したりするなど、子育てをする人達のためのサポーターとしても「おしゃべり広場ひだまり」の会を運営しています。

### 【主な活動内容】

#### 定期的な活動（月1回程度）

- ・「おしゃべり広場ひだまり」の中で（大館市教育委員会主催）家庭教育支援チームとして企画・運営、事業時の保育等を行う。
- ・児童クラブでのものづくり指導をする。



#### 不定期な活動

- ・イベントや講習会、サークル活動に参加される家庭の子どもさんの託児と見守り
- ・被災地での交流事業として、現地の子育て中のご家族のケアやお手伝い



震災の翌年から始まり、大谷地区では今年で7回目の出前交流会となりました。今回は、「大型バルーンで遊ぼう！」「おいしい珈琲の淹れ方」「アルミ缶レリーフ作り」を行いました。アルミ缶レリーフは、空き缶の裏面に花や動物などの絵を下書きして、色も付け、縁とりして模様を浮き上がらせる工作で、参加された皆さんは、自分だけのレリーフに大喜びでした。

また、子ども達とはこの他、ゲームや人形劇も楽しみました。お互いに交流を深め、みんなが楽しめる会となりました。遠方より交流のために来て下さり、本当にありがとうございました。（気仙沼市立大谷公民館のFaceBook ページより抜粋）

### 本郷上町内会



市へ要望書提出

代表者	鳥潟 洵
設立	昭和27年
構成数	114世帯
地区	大館市花岡町本郷上町内会

#### 【活動のきっかけ】

町内の活動を一部の人だけに頼らず、「みんなで作る」町内会にしたいと思いました。活発な町内会活動を展開することによって会員の融和を深め、明朗、誠実、豊かな町内の実現を目指し行っています。

#### 【主な活動内容】

毎月事業を実施することにより、町内の情報が共有できると考えて実践しています。

- 4月：部長会議担当事業の打ち合わせ
- 5月：町内に鎮座している神社の祭典、子ども神輿の巡行
- 7月：元気塾            8月：盆踊り、カラオケ大会
- 9月：婦人部料理教室、用水路点検と清掃
- 10月：元気塾        11月：鶴亀会のお楽しみ会
- 12月：神社の清掃と正月用の飾り付け
- 1月：ミニどんと焼き、女子青年部管外研修
- 2月：元気塾            3月：町内会定期総会

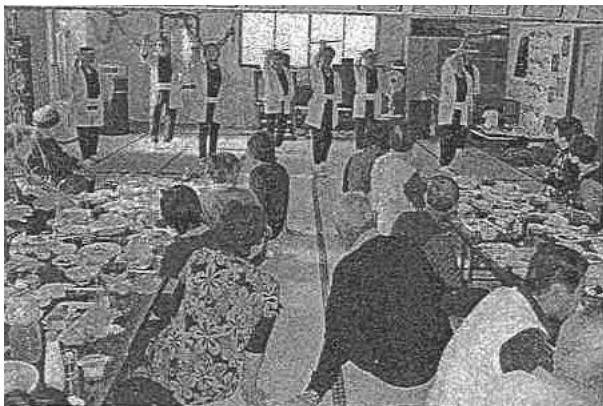


など

どんと焼き

#### 【今後の活動予定】

町内会活動の大きな「コンセプト」は、「人が動く」「物が動く」「町内が動く」です。年々、少子化・高齢化が進むにつれ、町内会を取り巻く環境に変化が生じ、町内活動への参加者が減少するなど、町内の活力が弱まってきております。しかし、少子高齢化に飲まれることなく、日々の生活の中に豊かさが実感できるような安心・安全な町内を築き上げていくことを目指して、町内会員が自助・共助・公助によって、良好なコミュニティーを形成していけるよう活動していきます。



鶴亀会（敬老会）で舞踊披露



元気塾で筋力アップ

## 前山自治会



### 【活動のきっかけ】

前山自治会は、会長、副会長のほか、総務、会計、委員で構成されています。主に、山などの財産管理のほか、5月に地域の鎮守、「雷皇（らいこう）神社」で行われる例大祭の前に、参道の刈り払い、墓地の清掃などを行い、地域の美化や管理に努めています。

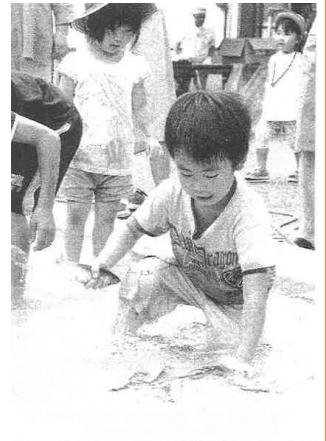
このような活動を行う中で話題に挙がったのは、「若い世代との交流が少なくなってきたと感じている。」ということでした。そこで、世代間で交流できるような、何かやれることはないかと考え、平成27年からお盆を目処に、世代間交流を目的とした行事を行うことにしました。

### 【主な活動内容】

「前山元気村三世代交流会」としてお盆休みにイベントを開催しています。

子ども達と親や祖父母の世代の人たちが交流することにより、子どもの自主性を育み、高齢者も元気をもらう地域のふれあいイベントとして定着しています。

イベントの中身としては、流しそうめんや魚のつかみどり、スイカ割りなど子どもが楽しめるものから、防災訓練や郷土芸能、カラオケなど大人向けのものもあります。



中でも、当地区に伝わる伝統芸能「獅子踊り」は、後継者不足から、平成18年を最後に休止していましたが、一昨年10年ぶりに復活しました。今後も獅子役の踊り手を育成し、伝統を継承していきたいと考えています。



前山地域に500年以上前から伝わる前山郷土芸能

